

ごうし栄一

後援会だより No.12



しあわせの
和を
繋ぎたい

ごうし栄一後援会事務所 山口市赤妻町3丁目3番20号信和ビル2F
TEL(083)921-5455 FAX(083)921-5411

山口から日本をよくする

暑中お見舞い申し上げます。 山口県議会議員 合志栄一

今日、明治維新、戦後改革に続く第三の変革が進行していると言われている。

この第三の変革の方向は明確です。それは、中央集権国家から分権国家への転換でありまして、地域と人々の暮らしをよくする新たな国の仕組みをつくるものでなければなりません。明治維新が薩長雄藩を中心とする地方からの変革であったのと同様に、この第三の変革の担い手も地方です。国内外の政治情勢の変動は目まぐるしいものがありますが、私は「山口から日本をよくする」の気概を以て本県の諸課題に取り組み、県議としての職責を全うして参ります。以下、今年前半の県議会報告です。

森林再生・林業振興

森林と暮らしとの つながりの回復!

3月県議会 日本は、国土の七割が森林であるという森林資源が豊かな国でありながら、木材自給率は二割で、木材消費の多くは輸入外材に占められております。そのため、林業の衰退と山林の荒廃が進行しております。

- こうした現状を踏まえて、先ず山口県から森林再生・林業振興を、との思いを込めて「森林づくりについて」ということで、次の六項目にわたって一般質問を行いました。
- 一 木材自給の向上について
 - 二 公共建築物における県産木材の使用促進について
 - 三 林業の生産性の向上について
 - 四 森林バイオマスの取り組みについて
 - 五 森林づくり県民税と山地災害対策について
 - 六 藻場・干潟の再生について
- 藻場・干潟の再生を質問に取り上げたのは、「森は海の恋人」と言われるように、森林と海とはつなが

りが深いからです。

この質問への答弁で、山口湾の藻場・干潟の再生に、県が七年前から取り組んできており、その結果、アサリが再び収穫出来るほどまでになって来ていることが明らかにになりました。

森林再生の鍵は、暮らしとのつながりの回復にあると見ております。

この認識に立って、森林再生・林業振興の諸課題に具体的に取り組んでまいります。

子どもの可能性を 伸ばす教育の推進

6月県議会 県議会に復帰して、はじめて教育問題について質問いたしました。

- 子どもの可能性を伸ばす教育の推進という観点から、
- 一 教育目標について
 - 二 情操教育について
 - 三 部活動を理由とする校区の変更について
- の三点について、この四月に県教育長に就任したばかりの田辺新教

長に、所見をうかがいました。教育目標については、現在の教育ビジョンの基本目標である「夢と知恵を育む教育」を受け継ぎ、一人ひとりの夢が実現できるよう全力で取り組む旨の答弁がありました。

情操教育についての質問は、子供たちの心、情操を育てる上で大事な役割を担う音楽教育が、近年小学校教育においてもおろそかになって来ている現状を指摘して、音楽教育の先生の適切な配置を求める趣旨で行ったものです。

これに対し、今後、教員の指導力の向上や人事配置の工夫、小中連携の促進などにさらに取り組み、小規模校も含めた小学校における音楽教育のより一層の充実に努める旨の答弁がありました。



部活動を理由とする校区の変更については、そのことに関しての実態調査、コンセンサスづくりに向けての協議会の設置、ガイドライン作成への取り組み等を求める趣旨で質問致しました。

中学生の八割近くが、何かの運動部の部活動に参加していますが、自分の校区の中学校に望む運動部がないという場合、校区外就学を認めるかどうかが問題になるからです。

教育長からは県市町の教育長会議において意見や情報を交換する場を設け部活動を理由とする校区の変更についての共通理解を図ってまいりたい旨の答弁がありました。これからも、教育問題は、私の主要テーマと位置付けて取り組んでまいります。

ごあいさつ

合志栄一 後援会

会長 河内義重



会員の皆様には、合志栄一後援会のためにご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。

各地区で開催される、ミニ集会等を通して、合志県議の活躍に、ご加勢の誠を捧げられ、また会員相互の親睦を図る企画にも、積極的に参加される等、幹事会の方々は本当に頭の下がる思いです。さて、我々は四期目の合志県議と共に、早いもので四年目の節目の夏を迎えました。後援会もこれまでに進めて参りました活動を総括して足らざるところは補足してより充実した態勢を整えなければと思っております。

此の度、前々より要望されていた、ゴルフクラブが「よつばゴルフ愛好会」の名前で先般発足しました。お世話の方々は、合志後援会らしい企画運営を考えておられます。ご期待下さい。

この会報「創」が届く頃には、参議院選挙結果が判かっておると思いますが、会員皆様各々の思いが適えられていることを祈っております。

今後共、合志栄一氏が、県政の場で、県民のため、十二分に力を発揮出来るように、ご支援ご協力を心からお願ひし、会員の皆様の限らないご健勝をお祈り申し上げます。



1月12日 二井知事へ
新年度予算要望書(新政クラブ)提出



1月16日 阿東総合支所開所式
(阿東町・山口市合併)



1月17日 第36回小郡近郊スポーツ少年柔道大会



1月27日 島根県芸術文化センター
山口県文化芸術振興議員連盟視察

写真で見る 合志県議活動抄録 (平成22年1月~6月)



2月4日 県議会農林水産委員会
久野ファーム視察



2月5日 県議会農林水産委員会
花き生産者・藤野協氏ハウス視察



2月17日 中国電力
新小野田発電所視察調査



2月18日 中山間地域電熱供給システム視察調査



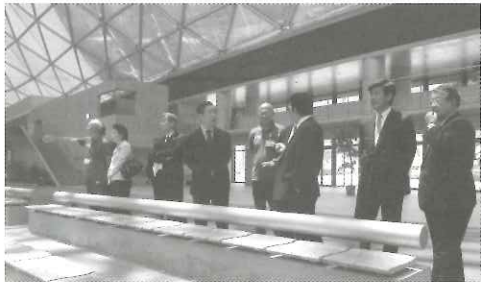
2月18日 イラク派遣自衛隊のヒゲの隊長・佐藤
正久参議院議員と(於 岩国基地空港協議会)



4月3日 湯田温泉 白狐祭(神事)



5月9日 やまぐち森林づくりフェスタ



5月26日 火の国広域スポーツセンター視察
於 熊本市



6月13日 スペシャルオリンピックス山口水泳
大会 於 小郡屋内プール



6月20日 青藍会(あんの循環器内科グループ)
創立20周年記念式典出席 於 山口市

この先生の答えは、世の中の在り方を考える上で大事な視点を提供していると思います。「コンピューター処理できるよいうにする」ということは、数値化するということでもあります。今日の時代、あらゆる面で、その数値化が進行し、そのことに基づいて物事を評価し、対応していくということが一般化しています。

しかし、その時、私たちは、「数値化できるものは、存在するものすべてではない、半分は過ぎない」ということを見失ってほしくないのではないのでしょうか。

この問いに対して広中先生は、「五〇です。心の世界はコンピューター化できません」と答えられました。

「存在するものすべてを〇〇とした場合、コンピューター処理できるものの割合はどれほどですか」と。

私は、講演が終わった後、広中先生に尋ねました。

「存在するものすべてを〇〇とした場合、コンピューター処理できるものの割合はどれほどですか」と。

コラム「心とコンピューター」

山口大学の学長を務められた広中平祐先生は、山口県の由宇町の生まれで数学のノーベル賞と言われるフィールズ賞を受賞された日本を代表する数学者であります。

その広中先生が、山大学の学長を辞められた後も、自ら学長をしておられた市民大学の講座で講演されたのを聴講したことがあります。

その講演で、先生は数学の定義について語られ、「数学とは、無限なるものの有限化である」と話されました。

そして、「有限化とは、コンピューター処理できるようにすることである」と補足されました。

平成22年合志栄一後援会幹事新年会記念講演

「長寿の克服」長生きは是か非か

県立大 小川雅広教授が爆笑講演

日本人の寿命が、八十歳を越えた。世界一である。

長寿であることが、当たり前になった。

私たちは幸せに感じている反面、老いという煉獄に直面しようとしている。

長寿は祝うものから克服しなければならぬ時代になろうとしている。

長生きは是か、非か。この間の答えに迫ってみた。

日本人の寿命が、八十歳を越えたのは、いつ頃からだろうか。

縄文時代の寿命は三十歳くらいだったという。

そして、弥生時代、古墳時代、飛鳥―奈良―平安―鎌倉―室町―安土桃山時代でも寿命は、三十歳とずっと変わらなかった。

江戸時代になって寿命が四十歳をこえ、その後、明治―大正―昭和時代を経て、戦後やっと五十歳になった。

その後寿命は急速に延び、平成になって八十歳をこえた。

つまり、戦後のこの六十年間で寿命が一気に三十年も延びた。

哺乳動物の寿命は体重に比例する。

人間の体重を六十kgとすると、人間の寿命は三十歳を切る。

十五歳で自分の子を産み、その子が成人するころが三十歳である。古来人生五十年と言われてきた。

これには生物学的な大変大きな意味がある。

すなわち、十五歳で生殖活動が始まり、五十歳でそれが終わるのである。

このことは今も変わっていない。しかし、現在寿命は、八十年、子孫を残す能力が失われているにもかかわらず生きている。

動物社会では、おじいちゃんやおばあちゃんはいない。

さらに人間は、自分自身の寿命を伸ばし続けている。

今世界は、地球温暖化というグローバルな環境問題に直面している。

人間が豊かな社会づくりを目指した結果、地球が今悲鳴をあげているのである。

つまり、莫大なエネルギーの消費と引き換えに長寿社会の確立ができたからである。

「長生きは、地球を滅ぼす」その危険性が現実のものとなろうとしている。

人間は、体ががたがたになっても豊かな食と高度医療のお陰で生き続けなければならない。

従って長寿は克服しなければならぬ時代になってしまった。

では、私たちは、長寿をどのようにして克服してゆけばいいのであろうか。

東京工業大学教授の本川達雄先生は、言い放っています。

「人生五十年と考えれば、三十年はお余りである。このお余りの人生を自分に生かすのではなく、子や孫の生殖活動のために生かせばよい」と。

人間は、年齢を重ねると知性が積み上がってゆく。

子供や孫のためにその知性を生かす生き方が、余りの人生といえるのではないだろうか。

動物の寿命はそれぞれ違うが、一生に消費するエネルギーは同じである。

つまり、ネズミのようにちよこまか生きててもゾウのようにゆったりと生きてても同じである。

だから、自分自身の老いに見合った時間観をもち、子や孫のために働くという労働観を持つて生きることが老いの克服に繋がる。

長生きは、是か非かという問いの答えは次のとおりである。

今のままの長生きは、是ではない。

しかし、老いの人生観をもった長生きは、非でもない。

元気な老人は感謝の気持ちが強く、よく笑う。

反対に嫌われる老人は自分勝手です、感謝の気持ちがない。

そして笑わない。

皆さん、明日から笑おう、明日から感謝しよう、明日から子や孫のために働こう。



写真特集

合志栄一後援会 幹事新年会

平成 22 年



新年会開始前に「あいあいクラブ」のバザー



ユーモアたっぷりに河内会長の新年のあいさつ



グループ「パークール」の演奏が、人と人、心と心をつなぐ



合志県議も川手リーダーとマリンバ演奏



「パークール」の伴奏で合志ご夫妻「年の始め」など斉唱



合志県議、各テーブルを回って記念撮影



合志県議、各テーブルを回って記念撮影



小野副会長「迷」調子の閉会の辞と三本締め

合志栄一後援会 活動抄録

(平成22年1月～6月)



2月24日 演歌歌手 出雲光一山口ディナーショー
出雲光一後援会長とし激励挨拶 於湯田



3月10日 合志県議一般質問の日 大雪 山口県庁



3月10日 3月定例議会 大雪の中の傍聴会



3月10日 県議会 傍聴後 旧県議会議堂を見学



3月12日 第8回勉強会 今、必要な教育について
講師 平川芳孝氏(前 柳井高校校長)



4月4日 合志栄一県政報告会 於 山口市「長州苑」



4月28日 第1回あいあいクラブ役員会



5月23日 鑄銭司地区ミニ懇談会



6月12日 よつばゴルフ愛好会発促
(合志後援会シンボルマーク四つ葉クローバー)



6月23日 第9回 勉強会 今、必要な教育の課題Ⅱ
われわれに出来ることは一子供を通して見えてくるもの—
講師 藤野正雄氏(前 良城小学校校長)

事務所メモ

- 1月 ・恒例の幹事新年会、今回も200名を超す参加で楽しい集いとなりました。裏方でご支援いただいた方々に深謝します。
・新年会の記念講演も小川講師の術語で爆笑続きで内容の濃い「生き方」の話でした。
- 2月 ・各地で市議会議員立候補予定者の後援会活動が活発化し、当事務所も少し選挙体制モードになる
- 3月 ・第8回勉強会はタイトル「教育テーマ(Ⅰ)今必要な教育について」で平川講師作成の素晴らしい資料による話で頭の整理が出来ました。
・あいあいクラブ企画の「合志県議一般質問傍聴と旧議会議堂見学会」は当日驚くほどの大雪で参加者を心配するが、こ

- の雪の中 60余名の参加あり。感動を覚えました
- 4月 ・地区代表者会議にて、今年度の活動方針決定 今年も力強い支援に感謝感謝です
- 5月 ・合志県議は東奔西走の活動。当月は委員会行事、視察、調査、陳情、又諸行事の出席等々特に多忙です。
- 6月 ・第9回勉強会は教育テーマ(Ⅱ)「われわれの出来ることは」のタイトルとし、前良城小学校校長藤野先生が講義されました。質疑応答も日本の将来は?と真剣そのものでした。「教育は、守、破、離…」の言葉が頭に残りました。
・念願のゴルフクラブ「よつば会」が発足。9月12日(日)が第1回コンペです。フルツテご参加下さい。

栄山会の案内

合志栄一氏の政治活動を資金的に支えるために資金管理団体「栄山会」があります。この栄山会にご支援いただいた資金は、幅広い支援活動をする合志後援会の活動経費に充当されます。諸事多端の折から恐縮ですが、「栄山会」の趣旨にご理解を賜わり、ご継続・ご入会いただきますようお願い申し上げます。

【組織の名称】 栄山会 代表者 合志栄一
 【会費受付】 一口 年額 2,000円(複数口数可)※納付者は個人に限ります
 【会費振込先】 郵便振替番号 01380-7-41 加入者名 栄山会
 ・山口銀行 山口支店(普) 6141625 栄山会代表 合志栄一

